

■ 対策事例【那珂川流域治水プロジェクト: 栃木県】

『堤防整備(粘り強い堤防整備)』

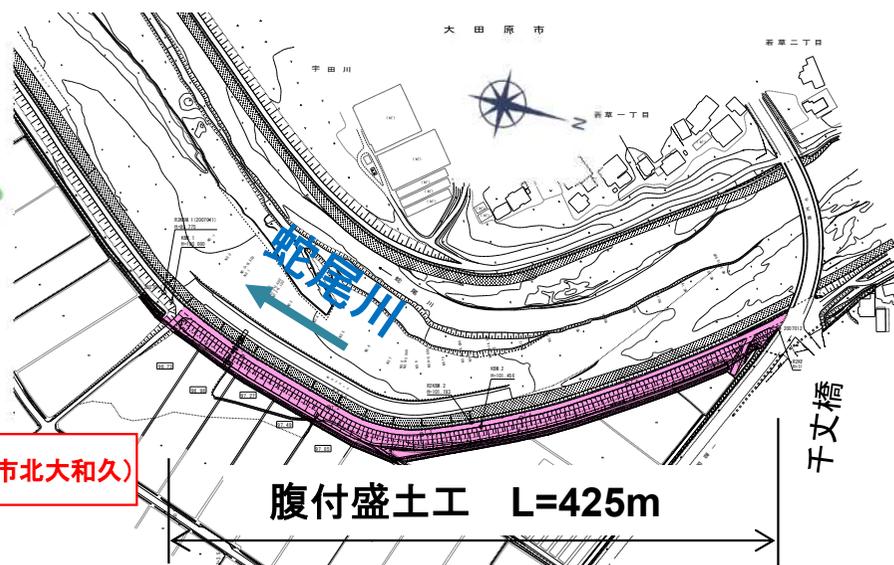
1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
洪水氾濫対策

➤ 万が一越水しても堤防の決壊による被害を防ぐため、水衝部である本区間に腹付盛土工を施工しました。

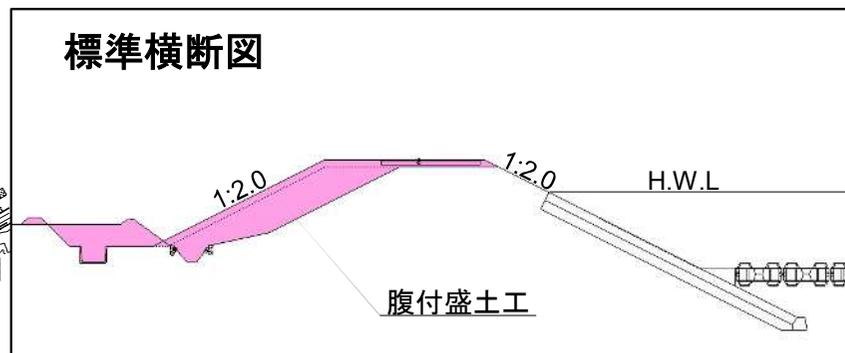
位置図



平面図



標準横断面図



事業箇所(一級河川 蛇尾川 大田原市北大和久)

施工前



施工後



■ 対策事例【那珂川流域治水プロジェクト：栃木県】

『民間と協働した河川内の公募伐採、代行掘削』

- 1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
洪水氾濫対策

➤ 治水安全度の向上、河川内樹木や堆積土砂の資源活用を目的に、民間と協働した公募による樹木伐採及び代行掘削を行っています。

位置図



公募伐採の例（一級河川 蛇尾川 那須塩原市 上中野）

施工前



施工後



代行掘削の例（一級河川 那珂川 那須塩原市 鍋掛）

施工前



施工後



■ 対策事例【那珂川流域治水プロジェクト：栃木県】

『DX(河川管理施設点検の効率化・高度化)』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

洪水氾濫対策

➤ 河川管理施設については、これまで徒歩による目視点検を実施してきましたが、「堤防等河川管理施設及び河道の点検・評価要領（令和5年3月国土交通省）」が改訂され、新技術の活用が認められたことから、従来の徒歩点検に加え、UAVを活用した点検の試行を始めました。

現在の取組



徒歩による目視点検

- ・目視による河川管理施設の変状把握
⇒ 日常のパトロールや河川管理施設点検の際に、目視により変状把握を行っています。

新たな取組



UAVを活用した目視点検



- ・UAVを活用した点検を行うことで、河道の状態を俯瞰して把握することができます。
- ・徒歩で行くことが困難な場所でも、効率的に点検を行うことができます。
- ・河川管理施設点検のほか、河川区域への不法投棄などの確認することができます。

■ 対策事例【那珂川流域治水プロジェクト：栃木県】

『災害・防災ネットワーク道路の強化及び道路アンダーパス部の冠水対策』

3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 避難体制等の強化

- 防災拠点や地域拠点間を結ぶ緊急輸送道路の整備を行うことで、災害に強い交通ネットワークを構築します。
- 道路アンダーパスにおいて、冠水対策の設備を整備することで、大雨時の冠水による事故発生や道路ネットワークの寸断を防ぎます。

緊急輸送道路の整備について(道路整備)

■安全で信頼性の高い道路ネットワークを確保するため、道路の拡幅・バイパス道路の整備・無電柱化を行います。

事例

防災危険箇所や事前通行規制区間の解消

路線名: 一般国道400号

箇所名: 那須塩原市 下塩原バイパス

延長: L=3,600m

(トンネル 2箇所 橋梁 2橋)

効果: 狭隘・屈曲部の迂回や防災対策により緊急輸送道路の強化



道路アンダーパス部における冠水対策事業について(道路保全)

■道路アンダーパスにおける事故や通行止めを防ぐため、進入対策、排水対策および電気設備の地上化を行います。

事例

エア遮断機(進入対策)

概要: アンダーパスの前後に設置し、冠水発生時に、エアで膨らむ大型の円筒型バルーンを自動で作動し車両進入を抑制

効果: 冠水発生時に、通行規制を迅速に行うことで、アンダーパスへの車両進入による事故を防止します。

箇所: (主)大田原高林線那須塩原市 東那須野西通りアンダー外



■ 対策事例【那珂川流域治水プロジェクト：栃木県】

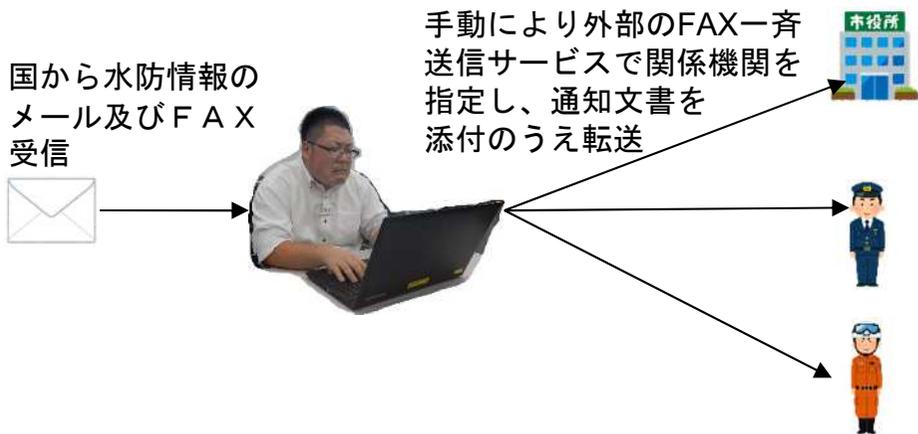
『水防情報の自動配信化』

- 3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
避難体制等の強化

➤ 国及び県管理河川において、より早い水防情報の伝達を可能にするため、水防情報を関係する市町や警察、消防に自動配信を行います。

これまでの配信方法

【国管理河川からの発表情報の通知】

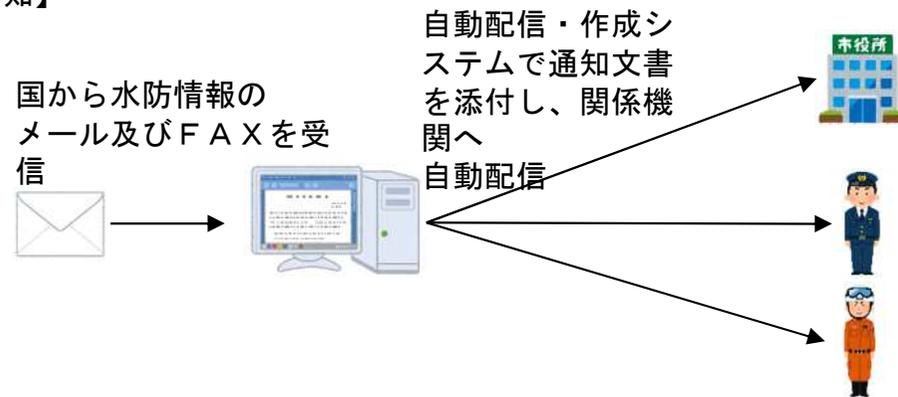


【県管理河川からの発表情報】



新たな配信方法

【国管理河川からの発表情報の通知】



【県管理河川からの発表情報】

